

2020年度 一般社団法人日本社会福祉学会 事業計画

一般社団法人日本社会福祉学会は、定款に定められた公益目的を達成するために、各事業の円滑な実施に努める。しかしながら、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本事業計画に基づいた事業の実施、予算の執行が困難なことが予想される。そのため、事業計画および予算案から大きな変更の必要が生じた場合は、その都度理事会で協議して適切な学会運営に努めるとともに、次年度社員総会でその詳細を報告する。

また、2019年度定時社員総会で報告した通り、2020年度より、学会が保有している余剰資金を用いて、本部事業内に使途を明確に定めた「特定資産」を新たに設置し、①日本社会福祉学会フォーラム開催、②創立70周年に向けた学会資料のアーカイブ化、③若手・女性研究者支援、またシニア研究者支援等に向けた調査・検討の3事業のため、運用を始める。

記

1. 学術研究集会・講演会等の開催について

社会福祉学の研究成果の発表・知識の交換を行うために、下記の事業を推進する。

1) 第68回春季大会・秋季大会について

①学会本部企画シンポジウムを中心とした「春季大会」

テーマ：「社会福祉人材—社会福祉の Redesign による可能性—」

開催年月日：2020年5月31日（日）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

②会員の研究発表を中心にシンポジウムやワークショップも開催する「秋季大会」

開催年月日：2020年9月12日（土）～13日（日）

※「死から生を見つめる福祉」をテーマに東北福祉大学にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現地校での開催は一年延期とし、オンラインでの代替開催とする。詳細は検討中であるが、新型コロナウイルスによる社会福祉学研究の停滞を防止する観点から、参加費は「無料」とする。

2) 各地域ブロック研究大会について

各地域ブロックの「研究集会」等を支援し、地域ブロックの研究活動の活性化を図ると同時に各地域の学術振興に寄与する。

3) 日本社会福祉学会フォーラムについて【特定資産対象事業】

会員および一般住民の関心なども踏まえながら、担当地域ブロックと連携し、学術フォーラムを開催し、地域における社会福祉学の普及・推進を図る。学会の社会貢献的な意味合いを持ち、各地域の福祉現場とつながる企画内容とする。

2020年度は関西地域ブロックにより開催をする。

2. 学会誌の刊行について

会員の研究成果を国内外に公表するために、下記の事業を推進し、研究成果の普及に努める。

- 1) 学会誌『社会福祉学』第 61 巻 1 号~4 号の刊行
 - 2) 英文誌『Japanese Journal of Social Welfare』（第 61 巻 5 号）を電子ジャーナル中心に刊行
3. 研究の奨励・研究業績の表彰について
- 会員の研究水準の一層の発展を図るために、学会賞事業を推進すると共に、若手研究者の育成に努める。
4. 関連学術団体との連携について
- 従前通り、関連学術団体との連携を図る。「日本社会福祉系学会連合」、「社会政策関連学会協議会」、「社会学系コンソーシアム」、「ソーシャルケアサービス研究協議会」、「人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会」などの活動を支援すると共に、本学会の研究水準向上に努める。
5. 国際交流および研究協力の推進について
- 1) 在日留学生会員の育成に向けた事業実施
 - ①引き続き秋季大会での「留学生と国際比較研究のためのワークショップ」の企画・開催の継続
 - ②ホームページ等を活用した留学生研究交流のための情報提供の推進
 - ③地域ブロック別での留学生会員向けの活動や情報提供の推進
 - 2) 自由研究発表・国際学術交流シンポジウム等への協力
 - ①10 月開催予定の韓国社会福祉学会秋季学術大会への役員参加および自由研究発表者派遣審査・決定と協力
 - ②日本社会福祉学会秋季大会「留学生と国際比較研究のためのワークショップ」の開催・運営
 - ③韓国・中国からの自由研究発表者受け入れ
 - ④11 月開催予定の中国社会学会社会福祉専門研究委員会全国大会へ自由研究発表者派遣審査・決定と協力
 - 3) 韓国、中国をはじめとする東アジア諸国との連携及び学術交流・推進事業
 - ①韓国・中国との 3 カ国学術交流「覚書」に基づく共同研究等の学術交流の検討・実施
 - ②東アジア諸国の社会福祉学会等の研究活動に関する情報収集と交流の検討
 - 4) 欧米諸国との連携及び学術交流の検討
 - ①欧米諸国の社会福祉学会等の研究活動に関する情報収集と交流の検討
6. 広報活動について
- 1) 「学会ニュース」の発行（2 月、6 月、10 月の年 3 回の発行を予定）
 - ①シリーズ「社会福祉学の未来への視座」を継続し、会員のニーズに応えるべく的確な人選を行い、より充実させたコラムを掲載する。
 - ②前年度に引き続き、地域の学会活動の動向を広報することを目的とした「地域ブロック紹介」を充実させる。
 - 2) 「広報委員会だより」の配信（年 5~6 回の一斉メール送信）
 - ①当学会の動向、必要な情報、ニュースの配信を充実させる。
 - 3) 学会ホームページの充実化を図る

①ホームページのリニューアル：モバイル化とともにモバイル、タブレットなど多様な端末に対応が可能で、反応が高速なものに改善しアクセシビリティを充実させる。円滑な活用、会員獲得にも貢献できるよう検討を行う。

②ホームページの国際化への対応：2年前からのホームページの英語対応に引き続き、昨年度、中国や韓国の研究者に必要な情報を掲載してきたが、引き続き、国際学术交流促進委員会と連携を図り対応をはかる。

4) 会員獲得のための広報活動

①会員獲得のために、わかりやすいパンフレットを作成する。

②会員検獲得を検討する若手会員によるワーキンググループを組織化する。

7. 研究倫理について

1) 研究倫理問題への迅速な対応

2) 研究倫理問に対する対応の検証

8. 学会資料のアーカイブ化について

1) 2020年度の具体的な取り組み

①『学会誌』の継続的デジタル保存化（継続事業）

②『大会要旨集』（冊子版）（CD-R版）の購入（新規）とデジタル化の業者委託（新規）

③国際文献社に保管の段ボール80箱の内容確認のための倉庫からの取り出し（新規）

④「学会ニュース」のデジタル化（新規）

⑤その他

2) 学会創設70周年に向けた中期計画【特定資産対象事業】

3) 収集した資料を公開する際の個人情報の取り扱いに関する検討

9. 若手・女性研究者等への支援について【特定資産対象事業】

1) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による学生会員の2020年度年会費軽減措置の実施

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、さまざまな事業が自粛、廃止されていることから、アルバイト等ができなくなったという院生、学生会員のため、学生の身分を有する会員の方々の2020年度年会費の軽減措置（免除）を行う。

2) 若手会員にむけた研究支援の推進

①第68回（2020年度）秋季大会における「スタートアップ・ワークショップ」の企画・実施

②同大会時に、研究歴の浅い会員の研究交流の場を設定し、会員のネットワーク化を図る。

③学会誌への投稿に向けて論文指導ワークショップなどの開催について検討する。

④ホームページ等を活用した研究歴の浅い会員の交流のための情報発信を推進する。

⑤大会時の託児サービスの周知と充実を図る。

3) 女性会員にむけた支援策の検討

人文社会科学系学協会男女共同参画推進部会（GEAHSS）の活動を通して他学会と連携を図るとともに、具体的な支援方を検討する。

4) 若手・女性研究者支援に関わる情報発信

若手・女性研究者支援の具体化について内外に発信し、会員の関心度を高めていく。

1 0. 各地域ブロックへの支援について

「地域ブロック助成金配分基準」に基づいて助成する共に、各地域ブロック事業計画を尊重し、「地域ブロック担当者委員会」を通じて、地域ブロック事業を支援する。

1 1. 総会・理事会活動について

「定時社員総会」を5月31日にオンラインにて開催する。学会運営を円滑に遂行するため「理事会」を開催する。

1 2. 運営委員会の活動について

事務局業務の全面委託を受けて、新たな体制での事務局業務の円滑な実施をすすめ、安定した学会運営を実現するため「運営委員会」を開催する。

1 3. 委員会活動について

上記の諸事業計画を推進するために、役員会を中心に下記の常設委員会および地域ブロックと連携し、学会運営に当たる。

常設委員会：研究委員会・全国大会運営委員会・学会賞審査委員会・研究倫理委員会・国際学術交流促進委員会・機関誌編集委員会・広報委員会・アーカイブ化推進委員会・研究支援委員会（「若手・女性研究者に対する支援検討委員会」より名称変更）・地域ブロック担当者委員会（地域部会委員会）

各地域ブロック事業概要

1. 主たる事業

- 1) 北海道：①機関誌『北海道社会福祉研究』の発行 ②研究大会・総会の開催 ③研究会の開催
④ニュースレターの発行 ⑤理事会（運営委員会）の開催
- 2) 東北：①研究大会開催 ②研究誌『東北の社会福祉研究第16号』の発行 ③ニュースレターの発行 ④幹事会（役員会）の開催 ⑤東北部会60周年記念事業の実施
- 3) 関東：①運営委員会、各部会活動の実施・運営 ②日本社会福祉学会関東部会研究大会の開催 ③機関誌『社会福祉学評論』の発行 ④ホームページ・ニューズレターについて
- 4) 中部：①研究例会開催 ②機関誌『中部社会福祉学研究』刊行 ③「院生・若手研究者のための勉強会」の開催
- 5) 関西：①年次大会開催 ②若手研究者・院生情報交流会開催 ③理事会開催 ④機関誌『関西社会福祉研究』の発行 ⑤ニュースレターの発行
- 6) 中国四国：①ブロック委員会開催 ②ブロック大会開催 ③総会開催 ④活動の広報 ⑤機関誌『中国・四国社会福祉研究』刊行 ⑥会員連携の共同研究の実施
- 7) 九州：①研究大会第61回の開催 ②機関誌『九州社会福祉学』刊行 ③運営委員会の開催

2. 地域ブロック大会・研究会等活動

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりすでに開催中止または延期となっているもの有り

地域名	開催月日	開催場所	備考
北海道	2020年5月	未定	研究会を年3回開催
東北	2020年7月	青森県立保健大学	
関東	2021年3月ごろ	未定	
中部	2020年4月18日	ウィンクあいち	院生・若手研究者のための勉強会を開催
関西	2021年2～3月ごろ	未定	若手研究者・院生情報交流会年3回開催
中国四国	2020年7月4日	川崎医療福祉大学	
九州	2020年6月6-7日	西九州大学	

3. 機関誌刊行・広報活動

地域名	機関誌刊行	広報活動
北海道	年1回（2021年3月）	ニュースレター 年4回
東北	年1回	ニュース 年2回 2020年5～6月、2021年1月頃
関東	年1回刊行	ニュースレター 年1回1月頃 メールマガジン、公式twitter、Facebook、RSS機能を活用
中部	年1回	
関西	年1回	ニュース 年2回
中国四国	年1回	会報 年数回（定期年2回）
九州	年1回	

以上